

Selva Nevada



コロンビア共和国（南アメリカ）

高付加価値アイスクリームを通じた農村の所得向上と天然林の保全の両立

8

働きがいも
経済成長も



12

つくる責任
つかう責任



15

陸の豊かさも
守ろう



過去の内戦を通じてコロンビア経済は疲弊し、特に地方農村の零細農家は、武装勢力の資金源となるコカの生産を強いられるなど、困難な状況の中で生き延びてきた。同社はコロンビアの森林資源に注目し、森林で育つ天然フルーツだけを原材料とするアイスクリームを製造している。



背景にある社会課題

- コロンビアは世界有数の生物多様性を誇る国であり、アサイー、カムカムなど豊富な果物がある。
- 長い内戦の影響で農村は疲弊しており、農民の55%は貧困、21%は極度の貧困の中にある。

ビジネスモデルと製品の特徴

- 同社はアマゾン流域のトロピカルフルーツを使ったアイスクリーム、果肉、シェイクなどを製造・販売している。
- 畑で栽培されたフルーツは使用せず、自然の森で採れたものだけを原料とする姿勢を貫き、パッケージ等でもその点を生活者に伝えている。

SDGビジネスへのアプローチ

- 同社はビジネスを通じて、コロンビアの生物多様性を保全することを一貫した目標としている。そのため天然のフルーツだけを原材料としており、その姿勢を積極的に示すことで、生活者からもその品質とインパクト志向が支持されている。
- 買入に際しては、地域ごとに、現地の小規模農業組合と商業協定を締結している。締結に際しては、現地の状況を綿密に調査し、森林資源を保全すること、その森林で採れたフルーツだけを出荷すること等を含む長期的な関係構築を合意する。地域ごとに生産センターの設置及び、再生エネルギーの導入により冷蔵のための電力確保を支援している。

SDGsへのインパクト

- これまでに408の小規模農家と取引を行い、その収入を、平均して26%向上させた。
- 非木材森林製品（NTFP：Non Timber Forest Product）の流通を増大させることで、森林及び生物多様性の保全に貢献している。

成功のポイント

- ① 天然のフルーツの使用に徹底してこだわる姿勢を明確にし、生活者に対してブランドメッセージやパッケージを通じて伝えることで、高付加価値製品としての支持を得た。
- ② 地域コミュニティと長期的な関係を結ぶことを重視し、森林保全を協定書で明確にするとともに、出荷・流通のための生産センターの運営を設備面・技術面で支援した。

